

施設見学会(神川農場・埼玉/関東工場)のご案内

2018年度秋の見学会を以下の要綱で開催いたします。
役員と株主のみならずとの懇談の時間も設けておりますので、当社への理解を深めていただける機会であると
考えております。

第6回 神川農場見学会

実施日時：2018年10月26日(金)
10:30～15:00(予定)

見学施設：神川農場(埼玉県児玉郡神川町)

集合・解散：JAひびきのホール(上越・北陸新幹線
場所 本庄早稲田駅より徒歩5分)
*駐車場完備
*JR本庄駅から送迎バスあり

ひびきのホール～神川農場への往復
(片道20～30分)は当社貸切バスでの
移動となります。

内 容：○朝日工業グループ事業の紹介・昼食
(JAひびきのホール)
*昼食は当社でご用意いたします。
○神川農場見学

募集人数：同伴者(1名)がある場合を含めて
総参加者数40名程度

見学方法：農場では1時間程度歩いて見学して
いただきます。

第3回 埼玉/関東工場見学会

実施日時：2018年11月3日(土)
10:30～15:00(予定)

見学施設：埼玉工場(鉄鋼工場)
関東工場(肥料工場)
(埼玉県児玉郡神川町)

集合・解散：当社埼玉事業所会議室
場所 *駐車場完備
*JR本庄駅から送迎バスあり

内 容：○朝日工業グループ事業の紹介・昼食
(当社埼玉事業所会議室)
*昼食は当社でご用意いたします。
○鉄鋼工場/肥料工場見学

募集人数：同伴者(1名)がある場合を含めて
総参加者数20名程度

見学方法：ヘルメット、見学服等着用の上、徒歩と
バスで見学していただきます。
急な階段、段差などがあります。

対 象 者：2018年6月30日現在、当社株主名簿に記載の株主様(同伴者は1名様まで可)

参 加 費：無料(但し、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。)

応募方法：同封の参加申込みはがきに必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。

【締切日：2018年9月20日当日消印有効】

※お申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

当選発表及びスケジュール等詳細は当選者への発送(9月28日発送予定)をもって代えさせていただきます。

【注意事項】

- ・歩きやすい靴、動きやすい服装でお越しください。
- ・天候などの事情により、見学会の中止、見学内容の変更などが生じる場合がございます。
- ・当社が撮影した写真・動画はホームページ、IR資料等に掲載させていただく場合がございますのでご了承ください。

朝日工業株式会社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル
TEL: (03) 3987-2161 FAX: (03) 3987-5326
URL: <http://www.asahi-kg.co.jp/>
E-mail: ir@asahi-kg.co.jp



この印刷物は環境に配慮し、森林認証紙と、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインキを使用し水なし印刷方式を採用しています。



株主通信

2018年度第1四半期



「選択」

株主のみなさまにおかれましては、平素より当社の事業活動に一方ならぬご支援ご高配を賜り、深く感謝しております。

さて、去る8月6日、合同製鐵株式会社(以下合同製鐵)が当社株式に対する公開買付け(以下TOB)を行う予定であることを発表しました。それと同時に当社は、TOBが開始された場合、TOBに賛同の意見を表明するとともに、株主のみなさまに対し応募を推奨する旨公表しました。

このTOBにより、当社は合同製鐵の連結子会社となることを目指し、またTOB成立後、合同製鐵が保有する議決権の数が一定以上となった場合には、非公開化手続を行うことによって、最終的には当社は合同製鐵の完全子会社となることを目指すものです。

つまり、私たちが電炉業界大手である合同製鐵グループの一員となり、新たな発展を目指していくことを「選択」したことを意味します。

鉄鋼業界が好況になる中で、鉄筋コンクリート造から鉄骨造へという業界の構造変化に直面し、当社単体ではどうしても打開するのに時間がかかるというジレンマに苛まれていたところ、問題意識を共有し且つ多くのシナジーの実現可能性が高い合同製鐵から、友好的な提携の話をいただきましたので、真剣且つ慎重に検討した結果、2社の連携が最も有効であると判断しました。

また、合同製鐵は、私たちが取り組んできた中期経営計画の戦略「鉄筋需要減少を見据えた鋼種構成比変革」を一段と加速させることが可能となるベストパートナーであると考えておりますが、その迅速な対応を実現するには単なる業務提携ではなく、資本面も含めた全社的な連携が必要と考え、完全子会社化を目指すことにしました。

さらに、合同製鐵は歴史ある鉄鋼の会社ではありますが、私たちが持つ鉄鋼以外の重要な事業である農業と砕石砕砂について、従来どおりの経営を続けることで合意したことにより、その分野でも今まで同様スペシャリティある事業展開を図っていくこととなります。

したがって、本件は、当社グループにとって、次の飛躍のために必要不可欠且つ最善の策であると私は確信しています。

公正取引委員会の審査が完了次第、正式にTOBの募集が行われることとなります。株主のみなさまには、是非本件の趣旨をご理解いただき、朝日工業グループのさらなる発展のために、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年8月

代表取締役社長 村上 政徳

業績ハイライト

2018年度第1四半期 業績ハイライト

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)利益
実績	9,831	33	23	△73
前年同期との差異	1,128	△93	△147	△136

セグメント情報

鉄鋼建設資材事業

売上高 前年同期比 27.9%増

セグメント利益 前年同期比 17.7%減

増減理由

- 販売数量拡大および販売価格上昇により増収
- 主副原料価格の上昇に伴うコストアップにより減益

(単位:百万円)

項目	前第1四半期	当第1四半期
売上高	4,788	6,123
セグメント利益	121	99

砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

売上高 前年同期比 17.1%増

セグメント利益 前年同期比 47.9%増

増減理由

- 需要好調に加え販売先拡大により増収増益

(単位:百万円)

項目	前第1四半期	当第1四半期
売上高	528	619
セグメント利益	28	41

農業資材事業

売上高 前年同期比 8.7%減

セグメント利益 前年同期比 39.8%減

増減理由

- 原料価格上昇に伴うコストアップおよび肥料価格改定を受けた駆け込み需要の前年比減少により減収減益
- 豪州乾牧草事業では収益確保も、中国での価格下落により減益

(単位:百万円)

項目	前第1四半期	当第1四半期
売上高	3,367	3,075
セグメント利益	336	202

財務ハイライト

貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前年度末 (2018年3月31日)	当第1四半期末 (2018年6月30日)	差異		前年度末 (2018年3月31日)	当第1四半期末 (2018年6月30日)	差異
流動資産	17,854	18,052	197	流動負債	16,242	16,569	326
(現金)	(4,238)	(5,045)	(806)	(支手・買掛金)	(7,326)	(7,681)	(253)
(受手・売掛金)	(6,401)	(5,362)	(△1,038)	(短期借入金)	(4,000)	(4,000)	(0)
固定資産	12,578	12,463	△115	固定負債	6,317	6,184	△133
				(長期借入金)	(4,287)	(4,190)	(△96)
				負債合計	22,560	22,754	193
				純資産合計	7,872	7,761*	△110
総資産	30,433	30,516	82	負債純資産合計	30,433	30,516	82

損益計算書(要約)

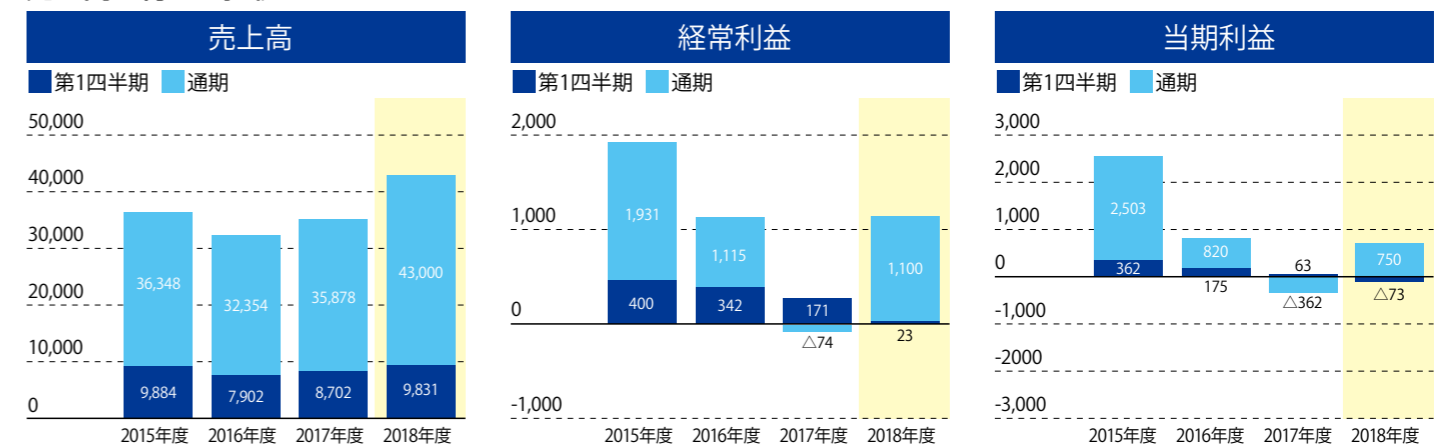
(単位:百万円)

	前第1四半期 累計期間	当第1四半期 累計期間	当年度 通期予想
売上高	8,702	9,831	43,000
営業利益	127	33	1,100
経常利益	171	23	1,100
当期利益	63	△73	750

*自己資本比率 25.4%

売上高・利益の推移

(単位:百万円)



*2018年度通期については予想

経営指標

	前第1四半期	当第1四半期	(参考)前年度通期
経常利益率(%)	2.0	0.2	△0.2
ROE(%)	—	—	—
純有利子負債*(億円)	59	63	71

*純有利子負債=有利子負債-現金